

第 2 回 定例教育委員会

1 開催年月日

平成 22 年 4 月 22 日（木）

2 主な議事の概要

[説明事項 1] 教育評価支援委員会の委嘱について

奈良県教育委員会の点検・評価にあたって、教育に関する学識経験者の知見を活用することが義務づけられているため、教育評価支援委員の委嘱について説明があり承認されました。

[説明事項 2] 人事について

平成 22 年 5 月 1 日付けの学校関係の人事異動について説明があり、承認されました。

[説明事項 3] 平成 22 年度奈良県教科用図書選定審議会調査員の任命について

平成 22 年度奈良県教科用図書選定審議会で教科用図書の採択にあたり必要な資料を作成するための調査員の任命について説明があり、承認されました。

委員から、小・中学校の教科用図書の採択頻度について質問があり、事務局から、4 年に 1 度の採択であるとの回答がありました。

[報告事項 1] 子どもの規範意識向上推進委員会からの「中間報告」並びに「小・中学校生徒指導ガイドライン」について

子どもたちの規範意識の向上に向けて、平成 21 年 6 月に外部有識者等からなる、子どもの規範意識向上推進委員会を設置し、今後の生徒指導の取組の方向性について議論していただいていること、また、平成 21 年度末に「中間報告」をいただくとともに「小・中学校生徒指導ガイドライン」の原案を検討いただいたことの報告があり、承認されました。

委員から、器物損壊の主なものはどういうものか質問があり、事務局から、窓ガラスの損壊が多く、発生件数の中には、ふざけあっていて壊した故意でないものも含まれていること、そのほか落書きもあることの回答がありました。

また、委員から学級崩壊は、どの程度あるのか質問があり、事務局から、学級崩壊は、何%というほどではなく、特定の子どもたちが騒いで授業になりにくいという場合があって、学校教育課生徒指導係で訪問して支援していきたいと回答がありました。

また委員から、暴力行為は小学校では 3 年連続で増加しているが、小学校では学年ごとにデータを取っているのかとの質問があり、事務局から、データとしてはないが、ここ 2、3 年は小学校 5、6 年生くらいがたいへんな状況にあるとの回答がありました。

[説明事項2] 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小・中学校）及び奈良県児童生徒の体力テスト調査報告書（高等学校）について

平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小・中学校）及び奈良県児童生徒の体力テスト調査報告書（高等学校）について報告があり、了承されました。

委員から、小学校5年生の運動習慣の状況を見ると、運動部やスポーツクラブには入っている児童の体力は全国平均に比べ高いが、入っていない児童の体力は全国平均に比べ低く、中学校2年生の運動習慣の状況を見ると、運動部や地域のスポーツクラブに入っている比率は女子に比べ男子は低くなっているため、運動部への加入促進が必要ではないか、また、全校的にスポーツクラブの加入を勧めているのかとの質問があり、事務局から、中学校、高等学校の新生入生に対して運動部の体験活動をしていること、チャレンジしてやってみたいという生徒に入部してもらっているとの回答がありました。

また、委員から、文化活動をやりたい生徒もいると思うので、体育の授業自体を活用してより体力を作る授業をすべきではないか、昨年度より指導で運動の加入率が向上しているようだが、文化活動も大事にすべきであるとの意見があり、事務局から、クラブ活動は運動部、文化部とも盛んであるべきであって、決して運動部だけに重点をおいているわけではないとの回答がありました。

また、委員から朝食の摂取に関して、食べるのはあらゆるエネルギー源であるので、朝食をとるのは大事であるとの意見や、運動部の部活練習が、全国レベルとなるとかなりきつくなっていて、生徒たちがついて行けるだろうかという不安もあるとの意見もありました。